

キャンピング KYOTO

編集・発行 京都府キャンプ協会

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都YMCA三条本館内

TEL: 075-255-4709 FAX: 075-255-2087

E-mail: kyoto@camping.or.jp URL http://kyoto.camping.or.jp

2019/1
Vol. 71

2018総会報告

『2018年度 京都府キャンプ協会 総会』

2018年度京都府キャンプ協会総会は6月23日(土) 11時00分～12時 京都YMCA三条本館にて開催しました。正会員13名の出席、委任状35名で成立し、すべての議案及び報告は承認されました。

第1号議案 2017年度事業報告

I. 会員数290名(2017年6月5日現在)

- A キャンプ・インストラクター資格 185名
- B キャンプ・ディレクター2級資格 60名
- C キャンプ・ディレクター1級資格 44名
- 他 1名

II. 指導者資格認定事業

キャンプ・インストラクター資格 認定者数14名
申請者数14名

III. 指導者養成事業

前期キャンプ・インストラクター養成講習会

受講者: 14名

日程: 理論4月30日・5月12日

実技5月13日～14日

会場: 京都YMCA三条本館

京都YMCAリトリートセンター

[次のページへつづく](#)

活動
報告

Brush up & Communication

びわ湖でカヌー体験

2018年8月13日(月)

京都YMCAサバエ教育キャンプ場

お盆の時期とは言え、月曜日の開催にもかかわらず、協会会員とご家族やご友人らのグループでの参加が多くあり、京都府キャンプ協会としては久々に40人を超える例会となりました。

オープンデッキのカヌーに3人から4人ずつに分かれて乗り、キャンプ場から東方にある日野川の河口のすぐそばにある橋を目標に漕いでいきました。今回は子ども達の参加も多くあったことから、橋の下ではペットボトルを拾い集めるゲームにもチャレンジしていただき、子どもたちも楽しんでもらったのではないかと思います。浜に帰ってきてからは、一人乗りのカヤックやボードカヌー、SUPにも挑戦し、それぞれのカヌーを楽しめました。その後、皆で昼食をいただき、解散しました。

報告 中村 彰利



支出の部

	科目	17決算	18予算	摘要
1	会議費	105,000	150,000	総会・日本協会総会・近畿ブロック他
2	旅費交通費	41,220	150,000	日本協会関連会議・近畿ブロック関連他
3	事業費	518,586	570,000	講習会・月例会・BUC他
4	事務費	131,813	450,000	郵送費・消耗品他
5	雑費	1,528,108	350,000	京都YMCAへの寄付150万含む
6	会員交流費	0	200,000	
7	積立金	0	300,000	40周年
当期支出合計		2,324,727	2,170,000	
予備費		0	565,981	
収支差額		1,810,881	0	
合計		4,135,608	2,735,981	

監査報告

2017年度事業及び会計について、監査の結果適正かつ正確なることを証明致します。

2018年6月8日 監事 柳沢 傳 監事 藤尾 実

第3号議案 2018年度事業計画

京都府キャンプ協会2018年度事業計画は満場一致で承認されました。

京都府キャンプ協会は設立以来、京都府下及び市内におけるキャンプの発展と指導者の養成と結集を願って、会員の方々によって運営されてきましたが、日本キャンプ協会が公益社団法人移行(2011年度より)に伴い、本協会も規約・会則と合わせて名称を「京都府キャンプ協会」変更し、新たな歩みを始めて7年が経ちました。

また、日本キャンプ協会が設立52年目を迎え、これまで培われてきた経験と、受け継がれてきたものを再認識すると共に、将来につながる新しい価値を示すための事業を進めたいと考えています。

2011年3月に発生した東日本大震災、2016年4月に発生した「熊本県大震災」以来、私たちの生き方や価値観、安全に対する考え方、共に生きることの喜びや重要性について考えることが必要とされてきています。そして、一人ひとりのいのちの重さや尊厳の課題について真摯に向き合うこと、人の多様性を受け入れることなどが求められています。また自然環境とエネルギーの問題についても、同様に新しい解決策が求められています。

このような諸課題に対しての早急な取り組みと共に、次代を担う子どもたちや青少年が自ら考え、新しい価値観を創り出す手段として、体験学習として代表的なものである「キャンプ」「自然体験活動」への期待がますます大きくなっていますが、その期待に応えるべく、キャンプのもつ教育的価値を再検証し、期待される指導者ならびに指導法についての見直しも求められています。

学校現場との連携や協力、日ごろ私たちが計画・実施しているキャンプのあり方、指導者の養成、キャンプの様々な報告や発信についても同様です。私たちが「大好きな」キャンプをあらためて見つめなおし、大切に育て、社会に発信することが、今こそ必要なのではないのでしょうか。

本協会は今年度におきましても、野外技術ならびに指導技術のスキルアップをはじめとした月例会の充実、そして一般市民を対象としたプログラム・クラフト指導と紹介などを行い、キャンプ協会の目的である指導者の養成とキャンプの普及活動に取り組みます。

更には、日本キャンプ協会が提案していますブラッシュアップアンドコミュニケーション(Brush up & Communica-

tion)の実施、近畿圏キャンプ協会との協働による指導者養成、研修会を計画しています。また、新規インストラクターならびにディレクター資格者の拡充を目指し、キャンプ活動の普及とともに、広報誌やホームページを始めとした広報の強化をはかっていくものとします。

これらの通年取り組んでできました事業方針に加え、2017年度より取り組んでいる「新たな事務局機能のありかた」の検討と、その組織運営に応じた人材を確保すること。また、委員会運営については、会員サービスの更なる強化を目指していきます。2018年度も特にこの2点を整えつつ、会員サービスならびに普及活動を進めていくこととします。

1. キャンプの普及活動の強化をはかります

① 広報

協会の公式ウェブサイトの運営
キャンピング京都(会報誌)を年2回発行
外部委託も検討し発行

② 普及事業

花背山の家主催事業(10月)などへの協力他

③ キャンプ愛好者や会員が集えるプログラムの企画実施

2. 協会運営および事業への参画者の拡充と指導者の資質向上、協会の基盤強化

① 委員会および普及事業への参画者拡充として、会員交流、貴重な野外活動体験につながる例会など、企画への助成事業を検討する。

② キャンプに関する事業の定期的実施(月例会の実施)

③ 会員交流、会員懇談会などの企画実施

④ 事務局機能の再構築

これからの事業計画及び実施に関しては、2020年の協会設立40周年に向けて理事会を中心として検討、計画を進める。

3. 日本キャンプ協会、地域協会をはじめ関係団体との協力・連携

① 日本キャンプ協会事業およびブロック会議へ積極的に参加・参画

近畿ブロックの幹事県としての役割

② 「関西野外活動ミーティング2019」への協力(3月)

③ SNSを利用した広報活動の強化

④ 花背山の家で行われている「自然体験活動」に参加・協力(10月)

第5号報告 2018年度委員委嘱報告

協会規約第17条により理事会は次の会員を委員として委嘱しました。 敬称略順不同

森下 克徳 吉田 穂積 岩西 敬一

濱野 一彦 船越 義正 竹川 尚美

福中 善久 中村 彰利

IV. 主催事業(月例会)、受託事業(月例会兼)

5月(月例会) 5月7日(日)

「竹の子掘りと野外料理」BUC認定事業

会場:青少年野外活動総合センター友愛の丘

内容:竹の子掘りと野外料理

参加費:1,000円

参加者:7名

担当者:濱野委員

10月(月例会) 10月1日(日)

「ネイチャークラフトイン宝ヶ池」BUC認定事業

会場:宝ヶ池公園憩いの森

内容:小枝、小石を使ってクラフトに挑戦

参加費:大人1,000円/小学生500円

参加者:8名

担当者:船越委員

10月(受託事業) 10月14日(土)・15日(日)

「マキノ高原ワークショップ」

会場:マキノ高原キャンプ場

内容:ペットボトルロケット作り

焼き板、ストーンペインティング

担当:船越委員・会員1名

10月(受託事業) 10月28日(土)

花背山の家「自然大好きフェスティバル」

会場:京都市野外活動施設「花背山の家」

内容:「勾玉作り」100セット準備 完売

担当:竹川・吉田・森下・船越・岩西各委員・会員1名

12月(月例会) 12月3日(日)

「次のキャンプで必ず役立つキャンプソング塾」Part6

BUC認定事業

会場:京都YMCA三条本館

内容:好評のキャンプソング塾の続編。仲間やキャンパーと口ずさみたくなるキャンプソングの魅力に迫った。

参加費:1,000円(軽食を用意)

参加者:4名

担当者:塚原委員

1月(月例会) ※参加申込みがなしのため実施せず。

「バードウォッチング(冬鳥)」

会場:鴨川~京都御所

内容:シベリアなどから越冬にやってきた野鳥を観察

参加費:無料

担当者:吉田委員

2月(月例会) 2018年2月4日(日)

「葉っぱのクラフト」Part4 BUC認定事業

会場:京都テルサ

内容:シュロの葉や、すすきの葉を使って「バッタ」などの製作。

参加費:1,000円(軽食を用意)

参加者:3名

担当者:塚原委員

3月(月例会) 2018年3月4日(日)

「キャンプスキルからの減災」BUC認定事業

会場:京都YMCA三条本館

内容:ペットボトルを使った食器、シートを使ったタープ、ハンドライトを使ったランタンなどさまざまなスキルを学ぶ

参加費:1,000円

担当者:船越・飯田委員

参加者:4名

V. 会議

理事会:2017年7月2日(日) 11時~
京都YMCA三条本館

総会:2016年7月2日(日) 13時~
京都YMCA三条本館

VI. 運営委員会

2017年4月6日、5月11日、6月1日、
9月8日、10月18日、11月15日

2018年1月17日、2月7日、3月19日
計10回

京都YMCA三条本館 午後7時~9時

VII. 協力事業

1. 「災害時の対応について」

2018年3月1日(土)

会場:精華町社会福祉協議会

主催:精華町社会福祉協議会

担当:神崎副会長・飯田理事

2. 関西野外活動ミーティング

2018年3月21日 11時~17時

会場:大阪ドーンセンター

(府立男女共同参画青少年センター)

主催:関西野外活動ミーティング実行委員会

VIII. 事務局事業

1. ホームページの更新

2. キャンピングKYOTO発行

2017年1月、2018年1月

X. 団体登録

1. 公益社団法人日本キャンプ協会

2. 京都青少年ゆめネットワーク「ゆめっと京都」

3. 京都府青少年育成協会

4. 人づくり21世紀委員会

5. 京都市教育委員会「花背山の家」運営委員会委員

6. (公財)京都市生涯学習振興財団

XI. 日本キャンプ協会

1. 第3回指導者養成委員会 10月23日
神崎清一副会長

第2号議案 2017年度決算

第4号議案 2018年度予算

京都府キャンプ協会2017年度収支決算書(自2017年4月1日至2018年3月31日)及び2018年度予算案は満場一致で承認されました。

収入の部

	科目	17決算	18予算	摘要
1	会費	450,000	450,000	登録費を含む
2	寄付金	50,000	50,000	YMCAより
3	事業収入	588,300	425,000	講習会・月例会・他
4	雑収入	265	100	預金利息
5	補助金	0	0	
当期収入合計		1,088,565	925,100	
繰越金		3,047,043	1,810,881	
合計		4,135,608	2,735,981	

2月例会

飛ぶ紙ヒコーキづくり

作りだしたらハマってしまう紙ヒコーキ。
大人も楽しめる紙ヒコーキを城陽五里五里の丘で
いつも紙ヒコーキを飛ばされている方々に教わり、
実際に飛ばしてみましょう。

日程 2019年2月24日(日)
11:00~12:00

場所 京都府立木津川運動公園「城陽五里五里の丘」
(京都府城陽市富野北角14-8)

参加費 200円

定員 10名程度

持ち物 飲み物

※動きやすい服装と防寒対策をお願いします。

主催 京都府キャンプ協会

申込み切 2019年2月9日(土)



3月例会 生きものみつけ!

春のつみ草



城陽五里五里の丘の「生きものみつけ!」の3月の活動に参加させていただく企画です。春の野草を摘んで、よもぎ団子を作ります。

日程 2019年3月17日(日)
13:00~16:00

場所 京都府立木津川運動公園「城陽五里五里の丘」
(京都府城陽市富野北角14-8)

参加費 500円

定員 10名程度

持ち物 飲み物、軍手、レジ袋、ふきん

※必要な方はエプロンをお持ちください。

※動きやすい服装でお越しください。

主催 城陽五里五里の丘

共催 京都府キャンプ協会

申込み切 2019年3月10日(土)



4月例会

Brush up & Communication

竹の子掘りと野外料理

京都府の南部に広がる野外活動施設の「友愛の丘」は、自然環境に恵まれ、施設一帯に竹林が広がっています。4月の例会では、友愛の丘の許可を得て、竹の子掘り体験から、採れたての竹の子を使った野外料理まで、春の訪れとともにやってくる旬の食べ物「竹の子」で楽しい一日を過ごしましょう。

日程 2019年4月21日(日) 10:00~16:00

場所 青少年野外活動総合センター 友愛の丘
(京都府城陽市寺田南中芝80)

参加費 会員・一般/大人1,500円/3歳から高校生1,000円/3歳未満無料
*当日お支払いください。*車でお越しの場合は駐車場代500円が別途必要です。

定員 20名(最少催行人数3名)

持ち物 野外料理に適した服装、軍手もしくは作業手袋、日除け帽子、飲み物

主催 京都府キャンプ協会

共催 公益社団法人日本キャンプ協会・公益財団法人青少年野外活動総合センター

申込み切 2019年4月11日(木)



申込み 下記内容を記載のうえメールまたはFAXにて京都府キャンプ協会までお申込みください。

①お名前 ②年齢 ③所属の有無 ④電話番号 ⑤メールアドレスまたはFAX番号

京都府キャンプ協会

E-mail: kyoto@camping.or.jp / FAX: 075-255-2087



お問い合わせ・お申込みは 京都府キャンプ協会

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都YMCA三条本館内

TEL: 075-255-4709 FAX: 075-255-2087 E-mail: kyoto@camping.or.jp URL http://kyoto.camping.or.jp